

わが社の イチ押し!!

日報で交通安全を 「見える化」するデジタコ、 「SR Connect」

株式会社協栄エレクトロニクス

特許や商標権など多くの知的財産を有する(株)データ・テック(東京)が開発した「SR Connect」などの「セイフティレコーダシリーズ」は、ドライバーの交通安全指導や省燃費運転などに効果があるとして、大手運送会社などで導入されている。同社販売代理店の(株)協栄エレクトロニクス(福岡市)は、九州地区の運送会社やバス会社などに導入メリットをアピールし、普及に注力していく考えだ。

日報で運行状況の確認が容易に

(公社)全日本トラック協会によると、平成28年の事業用貨物自動車の死傷事故件数は前年比9.6%減の1万4600件と、平成22年以降減少傾向にある。とはいえ、万一、重大事故を起こせば、多額の賠償金支払いにとどまらず、社会的な信用も失墜しかねない。

データ・テックが独自に開発したジャイロセンサ技術を搭載したSR Connectは、自動車の運行を記録するデジタコ(デジタルタコグラフ)とドライブレコーダの一体型車載器だ。現在位置情報、走行軌跡などがリアルタイムに確認できるほか、一運行ごとにブレーキ操作や停止する際の速度の落とし方、ハンドル操作、右左折、燃費改善につながる運転のスムーズさなど5項目を点数化。改善のためのコメントも付記される。一目で運行状況が把握できるように工夫されており、ドライバー一人ひとりの癖も把握できるのが特徴だ。

ドライバーは出・入庫時に「運行中」のボタンを押すだけの簡単操作で、出・入庫の日時やその間の動態管理などを表記した日報や指導書を出力することが可能だ。

事故につながる危険な運転があったときには、ドライバーがいつ、どこで、どんな操作をしたかを発生地点の映像(カメラはオプション)や地図、速度、エンジン回転数などのデータとともに危険予知トレーニングシートに印刷することができ、危険運転発生時の振り返りや、原因の追究、再発防止の指導にも活用可能だ。なお、SDカードによる運用のほか、クラウドシステムにも対応している。

事故率が1/4に減少した事例も

人材不足や教育・管理体制に課題を抱えていた大手引越し業者は、初期型のデジタコを導入したが、一元管理の難し

会社概要

商号	株式会社協栄エレクトロニクス
企業コード	800423528
所在地	福岡市中央区渡辺通1-1-1 サンセルコ商業・業務棟409
代表	吉村 泰明氏
電話	092-761-6657
設立	1990年2月
資本金	2000万円
事業内容	車載器、電子機器などの販売
URL	http://www.kyoei-ele.com/

さや導入効果が見えなかったことから、2005年にセイフティレコーダを導入するとともに安全教育研修を実施。点数の低いドライバーの添乗指導など、全社あげての徹底した安全指導活動の結果、事故率は1/4にまで減少した。

関西地区の運送業者のケースでは、入・出庫の時間管理や運転の見える化を目的にSR Pocketを導入した。特に課題となっていた後退事故については安全行動の推進によりSR運転診断得点が90点台を記録するようになった。現在、年間車両事故はかつての14件から1件に激減したほか、燃料費の削減にもつながったという。

(株)協栄エレクトロニクスの吉村社長は「今後ますます人手不足が深刻化するなか、安全運転の推進は企業のイメージアップだけではなく、人材確保にも有効と考えます。助成金・補助金制度のご相談も承っておりますので、ご関心のある方は弊社までお問い合わせください」と話している。

*セイフティレコーダ®は、(株)データ・テックの登録商標

